

☆ 空港のおしごと紹介 ☆

第4回 着陸帯除草・空港公園除草

- 航空機が滑走路を逸脱した場合に、航空機の損傷を軽微にとどめるため、また、航空機の安全な着陸復行（着陸のやり直し）を行うため、滑走路の周りに、平らで植生された土地があります。この滑走路を含めた矩形部分を**着陸帯**と言います。空港管理事務所は、この緑地帯部分を、適宜、除草を行い管理しています。
- 各空港には、隣接して**空港公園**が整備されており、この公園の管理も空港管理事務所が行っています。

◇ 出雲縁結び空港



◇ 萩・石見空港



◇ 隠岐空港



○各空港の除草面積

◇出雲縁結び空港	着陸帯 空港公園	約23ヘクタール 約7ヘクタール	(緑地部のみ)
◇萩・石見空港	着陸帯 空港公園	約58ヘクタール 約6ヘクタール	(緑地部のみ)
◇隠岐空港	着陸帯 空港公園	約25ヘクタール 約5ヘクタール	(緑地部のみ)

☆着陸帯除草の必要性☆

着陸帯には、旋回灯、進入角指示灯、滑走路距離灯などの航空灯火が設置されており、航空機からの視認障害とならない様に、適宜、除草を行い管理しなければなりません。



旋回灯

旋回進入する航空機に滑走路の位置や旋回のタイミングを知らせる灯火



進入角指示灯

着陸態勢に入った航空機に正しい機首の角度を知らせる灯火



滑走路距離灯

離陸または着陸した航空機に滑走路端部までの距離や航空機の位置を知らせる灯火

【出雲縁結び空港 編】

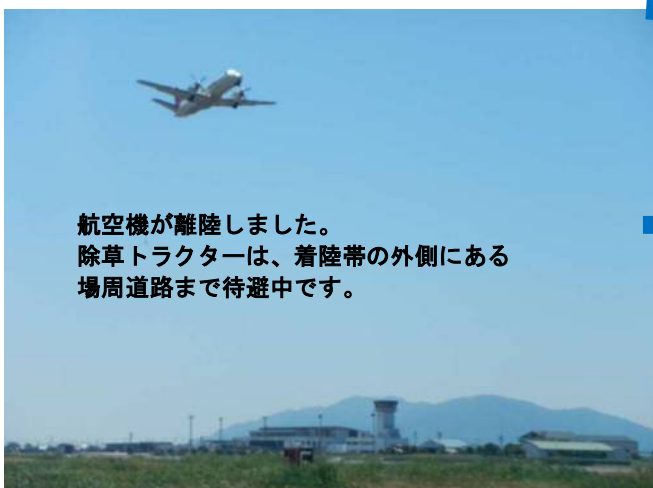
6月上旬の滑走路横の着陸帯の風景です。草が伸びていて滑走路距離灯が見えにくくなっています。これから除草作業を開始します。



作業は昼間行いますが、管制塔からの無線連絡により、航空機の離発着時は、作業を中断して、待避しなければなりません。限られた時間の中での作業です。



航空機が離陸しました。除草トラクターは、着陸帯の外側にある場周道路まで待避中です。



作業再開です！
このような作業→待避→作業が十数回繰り返されます。



草を刈ってから数日後です。
刈った草をロールにしているところです。



出ました。
ポン！



ロールにした草を搬出します。



草は牛の飼料として、近くの農家の方に
引き取っていただいています。



【除草前】
除草前後の比較です。



【除草後】
除草後1ヶ月半経過した状況ですが、
良好な状態が保たれています。
春～秋にかけて3回程度の除草を行います。



【萩・石見空港 編】



萩・石見空港でも草は牛の飼料として、
牧場に引き取っていただいています。





【ラジコン草刈機】



いいお仕事をしますよ!

萩・石見空港では、危険な盛土法面の草刈をラジコン草刈機で行っています。



【空港公園の除草】



広大な公園なので草刈も大変です!

【隠岐空港 編】



隠岐空港でも、隣接する空港公園に放牧場があり、牛の飼料として牧場に引き取っていただいています。

滑走路